

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 7 月 11 日(2023.7.11)

【公開番号】特開 2022-36551(P2022-36551A)
【公開日】令和 4 年 3 月 8 日(2022.3.8)
【年通号数】公開公報(特許)2022-041
【出願番号】特願 2020-140822(P2020-140822)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 3 日(2023.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第 1 表示態様と、第 1 表示態様よりも前記有利状態に制御され
る期待度が高い第 2 表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第 1 表示態様で実行される場合、第 1 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第 2 表示態様で実行される場合、第 2 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様
と、前記第 2 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態
様と、が異なり、
前記発光制御手段は、
エラーが発生したときに、エラー用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手
段を制御し、
通常状態において、通常状態背景用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手
段を制御し、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブル及び前記第 2 表示態様用輝度データテーブルよ
りも前記エラー用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御し、
前記通常状態背景用輝度データテーブルよりも前記第 1 表示態様用輝度データテー
ブル及び前記第 2 表示態様用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御する、

30

40

50

遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

(１) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第１表示態様と、第１表示態様よりも前記有利状態に制御され
る期待度が高い第２表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第１表示態様で実行される場合、第１表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第２表示態様で実行される場合、第２表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第１表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様
と、前記第２表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態
様と、が異なり、
前記発光制御手段は、
エラーが発生したときに、エラー用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手
段を制御し、
通常状態において、通常状態背景用輝度データテーブルを用いることで、前記発光手
段を制御し、
前記第１表示態様用輝度データテーブル及び前記第２表示態様用輝度データテーブルよ
りも前記エラー用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御し、
前記通常状態背景用輝度データテーブルよりも前記第１表示態様用輝度データテー
ブル及び前記第２表示態様用輝度データテーブルを優先するように前記発光手段を制御する、
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50